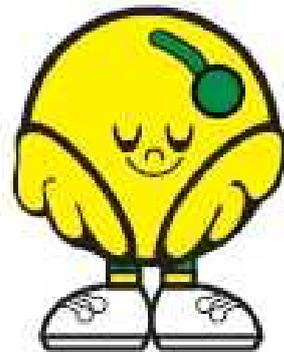


本事業に対する参加者の皆様方からのご意見ご感想

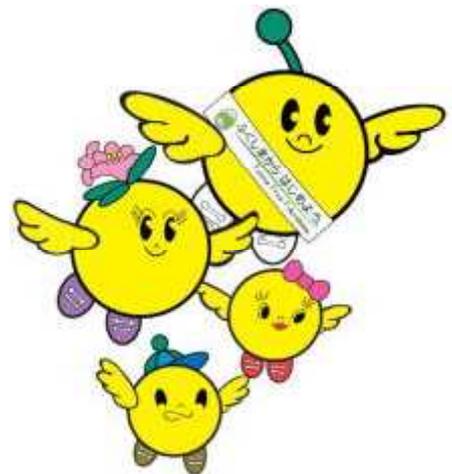
- 親子がふれあうよい機会の一つになっています。(小1・父)
- いつも最後に残ってしまう十七字ですが、いざ始めると次々にアイデアが浮かんで楽しんでいきます。(小1・母)
- 子どもの国語力を養ういい機会だと思います。(小1・父)
- 息子の今と、自分が同じ年頃だった過去を重ねてみたとき、もっと息子に寄り添いながら子育てをしたいなあと改めて感じるきっかけとなりました。(小2・母)
- 毎年この事業を通して、孫の成長を感じることができます。ありがとうございます。来年までの成長も楽しみにしていきたいと思います。(小3・祖母)
- 夏休み中の小さな出来事も俳句にしてみたら、親子の特別な思い出となりました。(小3・母)
- 毎年、今年の夏はこうだったなと振り返られる楽しみが「17字のふれあい」です。優秀作品集も楽しく読んでいます。(小3・祖母)
- 皆さんの作品を毎年楽しみに見えています。(小3・父)
- 親も子も忙しく、ゆっくり話す時間がなかなかないけれど、たった十七字で言いたいことが伝え合っている気がします。(小4・母)
- 親子や祖父母と孫が話し合うきっかけになっていると思います。(小5・母)
- 毎年夏の恒例となっていて、この作品によって誰が相手(ペア)になるのか決まるのが家族の楽しみになっています。(中1・祖母)
- 年に一度のこの企画を母(祖母)は忘れず先に切り出してくれます。(中1・母)
- 毎年、親子で指折り数えながら作品作りをし、楽しい時間を過ごしています。(中1・母)
- 俳句の内容で、子どもの心や考えが年々成長してきているのを感じています。(中1・母)
- この17字をきっかけに子どもと接する時間が増えています。(中1・母)
- 夏の思い出にいつも17字があります。考える時間も楽しいです。(中1・母)
- この17字も最後になると思うと寂しい気持ちになったので、最後は楽しい句にしようと思いました。(中3・母)
- 中学校卒業で17字も卒業となります。親子で取り組む夏の風物詩がなくなるのは嬉しいような寂しいような…。今までありがとうございました。(中3・母)
- 毎年、悩んで悩んで親子で考えて作品を作っています。そんな時間がとても貴重であり、楽しい時間となっています。(中3・母)



※ ここに掲載した以外にもたくさんのご意見やご感想をいただきました。ありがとうございました。

「第一次選考を終えての講評」 ※ 審査員の方々より

- 審査をとおして清々しい気持ちになりました。親子はもちろん，祖父母が参加した作品が多いのは南会津の特性(よさ)ではないでしょうか。入選の有無を問わず，各学校において一つ一つの作品を大切にしてもらいたいです。
- 親子の立場が逆転しているような作品が結構見られました。ユーモアがあふれ，心温まる内容でした。これも表現の工夫の一つでしょう。
- 特別な体験ではなくても，日常的なふれあいや生活スタイルの中で，子も親も互いに成長させ合っているということをこれからも実感してもらいたいです。
- 祖父母と孫，曾祖父母とひ孫まで幅が広がった。
- 家族の交流の姿にも，やはり世相が反映しているものだと感じさせられました。「ハイタッチ」などはまさにそれではないかと思えます。そんな姿も17文字に残されることにとても意義があることではないかと思われます。
- 多くの子どもたちが愛情豊かに育っていることを還元してあげられたらと思いました。
- 落選させるには惜しい作品が多くあり，選考に頭を悩ませました。
- すばらしい交流の作品に心を打たれました。
- 取材，選材に苦労されながらも，17文字(字余りも含め)に共感と感動を盛り込もうと，ペアで或いは家族であれこれと，さらに交流を深められた様子が偲ばれました。この事業のよさを生かし，今後も続けていただきたいと希望します。
- 共感が見られない，またはずれている作品もありましたので，各学校でていねいにアドバイスをする機会を設けるなどちょっとした努力も必要かと感じます。
「作品を作ったきっかけ」に目を通すと，とてもすばらしく温かな理由付けのある内容が多くありましたので，もったいないと思いました。



応募総数 小学校 9 2 0 点 (3 4)
 中学校 5 5 0 点 (3 7)
 合 計 1 , 4 7 0 点 (7 1)

掲載作品 <第 2 次選考通過作品>
 小学校 2 点 (0) 中学校 1 点 (0) 計 3 点 (0)

 <第 1 次選考通過作品>
 小学校 4 7 点 (3) 中学校 2 6 点 (1) 計 7 3 点 (4)

 <スマイル賞作品>
 小学校 4 7 点 (4) 中学校 3 6 点 (1) 計 8 3 点 (5)

※ () 内は「うち復興部門数」を表しています。

発 行 福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

